

事務事業	12008	生ゴミ処理容器導入推進事業	担当課	生活安全課	担当係	生活環境係
計後 画期 体計 系画	施策	13 生ゴミの減量と資源再利用を進め環境にやさしいまちをつくる	予算 科目	会計	1	一般会計
	取り組み方針	390 地球温暖化防止と資源の有効利用を進める		款	4	衛生費
				項	2	清掃費
				目	1	清掃総務費
法令根拠条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		個別計画			
実施期間	<input type="checkbox"/> 30年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 H8 年度より開始		<input type="checkbox"/> 期間限定(複数年)		年度~	年度

【事業の目的・内容】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください)		<input type="checkbox"/> 2次評価会議に提出します (左にチェックを入れる)
年々増加する家庭から出る燃やせるごみの中でも、3~4割を占める生ゴミを住民自らが処理することを奨励し、町が処理する生ゴミの減量化を図るため、生ゴミ処理容器・ダンボールコンポスト・生ゴミ処理器くたくん等を購入し、設置した方に対して補助金を交付している。		
【業務内容(町職員の仕事内容)】(改行は、「Alt」+「Enter」で行ってください) ダンボールコンポスト・生ゴミ処理容器販売、補助金申請受付、補助金交付事務	生ゴミ処理容器等購入費補助金 11 千円	
	千円	
		千円
		千円

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 30年度に行った主な活動(※箇条書きで記入) ・生ゴミ処理容器、ダンボールコンポストの窓口販売 ・生ゴミ処理容器、ダンボールコンポスト補助金交付事務	⇒	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																																																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> <th colspan="3">指標数値</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th></th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア</td> <td>補助金交付数(生ゴミ処理容器・ダンボールコンポスト・生ゴミ処理器くたくん)</td> <td>件</td> <td>18</td> <td>14</td> <td>20 (見込)</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>窓口販売数(生ゴミ処理容器・ダンボールコンポスト)</td> <td>個</td> <td>24</td> <td>14</td> <td>20 (見込)</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(見込)</td> </tr> </tbody> </table>					名称		単位	指標数値						29年度	30年度	31年度	ア	補助金交付数(生ゴミ処理容器・ダンボールコンポスト・生ゴミ処理器くたくん)	件	18	14	20 (見込)	イ	窓口販売数(生ゴミ処理容器・ダンボールコンポスト)	個	24	14	20 (見込)	ウ					(見込)																																					
		名称		単位	指標数値																																																																				
					29年度	30年度	31年度																																																																		
ア	補助金交付数(生ゴミ処理容器・ダンボールコンポスト・生ゴミ処理器くたくん)	件	18	14	20 (見込)																																																																				
イ	窓口販売数(生ゴミ処理容器・ダンボールコンポスト)	個	24	14	20 (見込)																																																																				
ウ					(見込)																																																																				
⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)																																																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> <th colspan="3">指標数値</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th></th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア</td> <td>人口</td> <td>人</td> <td>45,757</td> <td>46,016</td> <td>46,087 (見込)</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(見込)</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(見込)</td> </tr> </tbody> </table>					名称		単位	指標数値						29年度	30年度	31年度	ア	人口	人	45,757	46,016	46,087 (見込)	イ					(見込)	ウ					(見込)																																							
名称		単位	指標数値																																																																						
			29年度	30年度	31年度																																																																				
ア	人口	人	45,757	46,016	46,087 (見込)																																																																				
イ					(見込)																																																																				
ウ					(見込)																																																																				
② 対象(誰、何を対象にしているのか) 町民	⇒	⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)																																																																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称</th> <th>単位</th> <th colspan="3">指標数値</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th></th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">ア</td> <td rowspan="2">生ゴミ処理容器補助交付台数</td> <td rowspan="2">台</td> <td>目標</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>2</td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">イ</td> <td rowspan="2">ダンボールコンポスト補助交付台数</td> <td rowspan="2">台</td> <td>目標</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>9</td> <td>7</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ウ</td> <td rowspan="2">生ゴミ処理容器累積補助交付台数</td> <td rowspan="2">台</td> <td>目標</td> <td>280</td> <td>285</td> <td>285</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>277</td> <td>281</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">エ</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">オ</td> <td rowspan="2"></td> <td rowspan="2"></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					名称		単位	指標数値						29年度	30年度	31年度	ア	生ゴミ処理容器補助交付台数	台	目標	50	50	50	実績	2	4		イ	ダンボールコンポスト補助交付台数	台	目標	200	200	200	実績	9	7		ウ	生ゴミ処理容器累積補助交付台数	台	目標	280	285	285	実績	277	281		エ			目標				実績				オ			目標				実績			
		名称		単位	指標数値																																																																				
					29年度	30年度	31年度																																																																		
ア	生ゴミ処理容器補助交付台数	台	目標	50	50	50																																																																			
			実績	2	4																																																																				
イ	ダンボールコンポスト補助交付台数	台	目標	200	200	200																																																																			
			実績	9	7																																																																				
ウ	生ゴミ処理容器累積補助交付台数	台	目標	280	285	285																																																																			
			実績	277	281																																																																				
エ			目標																																																																						
			実績																																																																						
オ			目標																																																																						
			実績																																																																						
③ 意図(この事業で、対象をどのような状態にしたいのか)																																																																									
生ゴミを自家処理できる。ごみを減量する。																																																																									

(2) 総事業費の推移

事業費	財源内訳(千円)		29年度 (決算値)	30年度 (当初予算)	30年度 (決算値)	31年度 (当初予算)	32年度 (計画)	33年度 (計画)
	経費	国・県支出金、地方債等						
受益者負担等								
一般財源		9	60	11	60			
合計(A)		9	60	11	60	0	0	
(内臨時・嘱託職員人件費)								
	正職員人件費[按分](B)		992	1,198	1,095	1,158		
	トータルコスト(A)+(B)		1,001	1,258	1,106	1,218	0	0

事務事業評価表(事業実施年度:平成30年度)

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を開始したきっかけは何ですか?いつ頃どんな経緯で開始されましたか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化していますか?	③ 事務事業に対して関係者からどんな意見や要望が寄せられていますか?(誰からの意見か明記)
増大する燃やせるごみ量を減量するために補助金交付をしている。平成8年から町内会の要望もあり、生ごみ処理容器の補助金交付を始めた。その後、生ごみ処理機が普及し、平成10年から生ごみ処理機の補助金交付を始めた。近年、集合住宅に住んでいる人でも手軽に生ごみを堆肥化できるダンポールコンポストを普及させるため、平成19年から補助金交付を始めた。	生ごみ処理容器の購入個数は、事業開始当初は多かったが徐々に減少し、近年では横ばい状態になり、生ごみ処理容器を使用する人は少なくなってきたと考えられる。生ごみ処理機は、平成15年から減少傾向であり、平成21年度から補助金を廃止した。	住民から「補助制度があり、助かる」という意見がある。

(4) 昨年度の評価結果の取り組み状況調べ

昨年度の事務事業評価結果		30年度の取り組み状況と今後の方針	
事業の方向性	平成30年度の取り組み概要及び期待される効果	実施状況	実施できなかった理由と今後の方針
<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 目的の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 事務事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	生ごみ処理容器・ダンポールコンポストの購入個数は前年に比べて減少しているため、文化祭などのイベントや出前講座等で、さらなる普及啓発を図る。	<input type="checkbox"/> 記述どおり実施できた(コメント必要ありません) <input checked="" type="checkbox"/> 一部実施できた(理由→) <input type="checkbox"/> 実施できなかった(理由→)	実施できなかった理由と今後の方針 ごみ減量のためのダンポールコンポスト推進の啓発・普及が十分でない。 文化祭の環境コーナーにて、ダンポールコンポストで作った肥料を使って野菜販売する際に、ごみ減量につながる旨を説明した。

2 評価(SEE)及び全体総括の部*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

(1) 評価

	評価の理由
目的妥当性評価 ① 上位施策への貢献度は大きいですか? ※総合計画を参照してください <input checked="" type="checkbox"/> 貢献度大きい(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度ふつう(理由→) <input type="checkbox"/> 貢献度小さい(理由→)	ごみ減量推進において、燃やせるごみの3割~4割は生ごみなので、これを堆肥に変えることにより、ごみの減量につながる。
② 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、総合計画の町の役割や基本方針に合っていますか?) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である(理由→) <input type="checkbox"/> 妥当性が低い(理由→)	循環型社会の構築のために、生ごみの自家処理を推進することは結びついている。
有効性評価 ③ 成果がこれ以上向上する余地(可能性)はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地がある(理由→) <input type="checkbox"/> 成果向上余地がない(理由→)	生ごみ処理容器の購入個数は前年に比べて横ばいであるが、ダンポールコンポストの購入個数は減少しており、今後はさらなる普及啓発が必要である。
評価 ④ 廃止・休止した場合、成果への影響はありますか? <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり(理由→) <input type="checkbox"/> 影響なし(理由→)	生ごみ処理容器、ダンポールコンポスト、生ごみ処理器くたくんを使って生ごみ堆肥化をしている世帯から生ごみの排出がされ、燃やせるごみの量が増大する。
効率性評価 ⑤ 現状の成果を落とさずにコスト(予算+事務従事時間)を削減する新たな方法はありますか?(広域連携や民間委託等の導入など) <input type="checkbox"/> ある(具体的な内容→) <input checked="" type="checkbox"/> ない(理由→)	21年度から生ごみ処理機への補助を廃止し、原価の安い生ごみ処理容器、ダンポールコンポストのみへ補助金を交付するようにしたため。

(2) 30年度を振り返って(全体総括・反省点)

生ごみが実際にどのくらい減量できたかを調べる術はないので、生ごみ処理容器・ダンポールコンポスト等の普及状況を見て考えるしかない。ダンポールコンポストを今後は普及させていく方が効率が良いので、生ごみは自家処理するという意識付けのために、生ごみ処理方法の啓発は継続していく必要がある。また、作られた堆肥を使って野菜等を栽培することができる。
--

3 今後の方向性(31年度以降の計画と32年度予算への反映)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) <input type="checkbox"/> 廃止・休止(理由→) <input type="checkbox"/> 目的の見直し(内容→) <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善(成果向上)内容→ <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減)内容→ <input type="checkbox"/> 事業終了 <input type="checkbox"/> 現状維持・継続	(2) 平成31年度以降に取り組む内容と期待される効果 生ごみ処理容器・ダンポールコンポストの購入個数は前年に比べて減少しているため、文化祭などのイベントや出前講座等で、さらなる普及啓発を図る。
---	---